D-10
気管形成例の検討

旭川医科大学第一外科1 旭川医科大学2
○前田基司1 久保良仁1 林 秀雄1 表 潟雄1 中島 淳2

昭和52年より、当科では気管・気管分岐部形成を15症例経験した。今回、症例を頭気管及び頸気管・分岐部の2群に分けて検討成績（総合成績の有無）および成績成績（換気不全・再発の有無）に関し検討した。対象：1）頭気管気管の10症例は悪性症例で、術後閉鎖は3気管輪（R）－1例、4－R－2例、6－R－3例、7－R－2例、8－R－1例、12－R－1例であった。2）頸気管・気管分岐部5例は良性症例で、術後閉鎖は気管分岐部－1例、顕・気管・気管分岐部－2例であった。結果：気管切断範囲、および術前照射照療に関し検討し、以下の結果を得た。1）頭気管・気管分岐部で、術後閉鎖は3症例中1例に生じ、総合成績は3/0に生じ、特に術前照射療法施行2症例で2例に生じなかった。2）頸気管気管・気管分岐部の2症例は術後閉鎖が認められた症例で、術後閉鎖は術後放射療法施行例など、すなわち成績成績の有無について検討した。なお、術後放射療法施行例については、術後放射療法施行例、および広範囲気管形成術例は、総合成績の発生する危険性が高く、十分な対応が必要である。

D-12
気管分岐部切除術を併用した肺切除術例の1例

桜田 剛彰1 、

気管分岐部切除術を行った肺切除術1例

D-11
気管合併切除を行った甲状腺癌の2例

山口大学医学部第1外科3
○金田好和1 吉川昭一2 、小田達郎1 、伊田中章2 、

NII-Electronic Library Service